

内子ねき歩き参加者募集中!

ねき歩き専属ガイドがご案内するまち歩き。暮らす人がいる分だけ、独自の文化や歴史があります。楽しく、ゆっくりと、内子の魅力を紐解くねき歩き。皆様の参加をお待ちしています!

申し込みはホームページから!

🔍 ねき歩き で検索!

www.we-love-uchiko.jp/stroll/stroll4/

※ 詳しくは内子町公式観光サイト「内子さんぽ」をご覧ください。

🔍 内子さんぽ で検索!

www.we-love-uchiko.jp/

まち歩きアプリのご案内



Google play



App Store

ねき歩き全コース上で
ナビゲーションサービス
をご利用いただけます。



QR Translator



Scan to get the info in
your own language.

TOUR
03

Uchiko Guide Tour #03

Ishidatami
Muranami

Meeting the original
landscapes of beautiful
Japan in the mountain
villages.



コース

石畳 むら並み

内子ねき歩き





専属ガイドツアー！
内子ねき歩き

石畳むら並みコース

町の中心部から約13km、一級河川肱川支流の小田川に注ぎ込む麓川の源流域である石畳の東集落。栗や椎茸生産など農林業を主体とする人口約60人の小さな集落をゆっくりと旅するコースです。地域を思う地域の人と共に歩き、ここにしかない宝に出会うねき歩きです。

Neki Aruki ♪



「ねき歩き」とは？

「ねき」とは、内子の方言で「近く」「近場」のこと。近くの小エリアを愉しむ新たなまち歩きです。

所要時間 90分 距離 1.5km

参加費 お1人様 2,500円
(そば処石畳むらの昼食代を含みます)

定員 1~15名

集合場所 そば処石畳むら
(内子町石畳4035番地)

集合場所までのアクセス

- ① 内子・五十崎ICから車で約25分。
ICより国道56号線を右折し松山方面へ。
田中橋交差点から左折して県道243号線に入り道なりに走る。
- ② JR内子駅から車で約25分
※お車でお越しの際は、そば処石畳むらの駐車場をご利用ください。

※集合場所の位置は中面マップに記載しております。

申込方法 内子町公式観光サイトの「おさんぽコース（ガイド付き）」を確認の上、ホームページからお申し込みください。
www.we-love-uchiko.jp/stroll/stroll4/

🔍 ねき歩き で検索！

問い合わせ先 ① 内子町ビジターセンター(A・runze)
☎0893-44-3790
FAX0893-44-3798

〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子2020番地
開館 9:00~16:30 (4~9月17:30) 木曜休館

散策の際には歩きやすい服装と靴でどうぞ。
また、車などに充分注意し、各自で責任を持って行動してください。

内子ねき歩き嘶いし

石畳を思う人々

語り手 岡本 實男じつおさん(農家)

20年ほど前に、我が家(東地区)から山々の風景の写真を撮ったことがあるのですが、今は変わりましたね。当時は葉たばこ生産が盛んな時代で、見渡す限り葉たばこのマルチで真っ白でしたよ。産業は移りゆくもので、林業・木炭で栄えた時代から、養蚕、葉たばこへと。今は葉草や栗があるけど、模索の時代ですよ。

弓削神社は、隣の双海町・上灘にある三嶋神社の末社。神様(神社)と仏様(お堂)が同じ境内にあるのです。「奈つかしき 神に 佛に 弓削の景」と詠われた句があります。お堂の前が広場だった頃は、ここで盆踊りをしていましたね。

東集落独自でやっているのが、しだれ桜まつりと弓削神社の春の大祭(神楽)です。桜まつりは桜の状態に合わせてやっています。また集落のシンボルであるしだれ桜は、平成21年(2009)に大がかりな治療をしました。木の中が、大人ふたりが入る程の空洞になっていて、ビートモスという苔を木の中に入れる作業をしました。バケツリレーで小学生も手伝い、皆でこの桜を守っています。

東集落の人はね、目上の人に声をかけるのに「にいさん」「ねえさん」と言います。年がいくつであろが、尊敬と親しみを込めて皆がそう呼び合うなど、深い絆があります。平成25年(2013)に8年ぶりに行った弓削神社太鼓橋の屋根の葺き替えでも、皆が集まって頑張りましたね。大変だけど続けることが大事なのです。

昭和62年(1987)「このままでは集落が消えてしまう」「石畳に誇りに思える地域をつくりたい」と結成した「石畳を思う会」のメンバーでもある岡本さん。自らの地域は自らの手で、その実践者の一人です。



太鼓橋屋根の葺き替え作業を終えた東集落の方々(2017年撮影)。

* 前列より2列目、右から3番目の方が語り手の岡本さん。

石畳むら並みコース

⑤コエダシ

屋地の一角に石を囲い、牛の糞に藁などを漉き込んで発酵させておいた場所がコエダシです。農業機械がなかった時代、牛が飼われ、田起こしや荷物運搬などに活用されていました。



④かわじの湧水

「かわじの湧水」の水温は常時14℃。江戸時代の頃には、この湧水を使って藍の染物をしていたという話も残っています。ここから見下ろす棚田や山々の風景は最高です。



③イモツボ（日浦家）

（見学は要予約）

昔の農家住宅にはイモツボという保管場所がどこかの家庭にもありました。日浦家のイモツボはかつて蚕が食べる桑の葉を一時保存する場所であったため少し広め。現在は芋の貯蔵庫として使われています。



②東のシダレザクラ

県指定天然記念物

エドヒガン系のシダレザクラで地元では樹齢350年以上と伝わっています。近年、主幹が空洞になり、枯れ枝も目立っていました。平成19年（2007）に樹医や地域住民の手厚い保護活動により、樹勢を次第に取り戻しています。



④かわじの湧水

⑤コエダシ

③イモツボ（日浦家）

※見学は要予約

⑥渡り石

石垣を管理するために工夫されたのが渡り石。石垣の中間あたりに意図的に石垣の面からはみ出した石を歩幅間隔で入れ、高い所の草引きなどをしていました。



⑥渡り石

ゴヨウマツ（高藤家）

※見学は要予約
町天然記念物

⑧久保殿屋敷跡

※見学は要予約

⑦弓削神社

町指定天名勝

屋根付太鼓橋

牛の峰（865.5m）

至中山

至上灘

弓削大師堂

久保川の湧き水

石畳ミニ八十八力所

ねき歩きコース内には約15体の
お大師様が鎮座しています。

⑦弓削神社

応永3年（1396）創建と伝わる弓削神社には、長さ22m、杉皮ぶきの屋根付き太鼓橋が架かり、弓削池（約1500m²）の参道と成っています。氏子は今も毎日交代でここを渡り、地域の五穀豊穡と家内安全を祈る「日参り信仰」を続けています。



バトンのように受け継がれる日参の旗。参拝時に持参する。

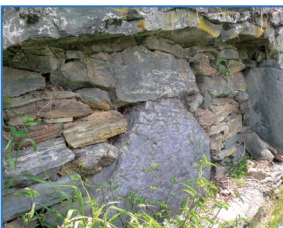


約25mあった弓削大師堂の松。昭和53年、松食い虫被害により伐採された。（昭和53年撮影）

⑧久保殿屋敷跡

元禄年間（1690～1700）

石畳に住み着いた黒山城主子孫の久保九兵衛が豪族久保殿の初代。その子孫で5代目長太郎、6代目伝四郎春房は、年末の大洲城下で「久保伝四郎金貸し」と立札し各村々の庄屋に金を貸し付ける大洲藩きつての大金持ちでした。その生活は、毎日高岸村（現伊予市双海町）から魚を運ばせ庭園の池には船を浮かべて三味線をひき浄瑠璃を楽しんだと伝わります。「東の空にカラスの鳴かない日はあっても久保殿に三味線の音が鳴らない日はない」という話も。現在、屋敷跡には富士山を模した石垣が残っています。



もう一つのシダレザクラ

久保伝四郎の墓地にある古木の桜。東のシダレザクラと変わらない歴史があると言われています。

スタート＆ゴール

①そば処 石畳むら

（集合場所）

平成21年（2009）に営業を開始した「そば処石畳むら」。蕎麦どころ山形県で修業を積み起業化。地元で栽培した蕎麦を石臼で挽き、打ちたたて湯がきたての蕎麦を販売しています。客席からは東のシダレザクラ（春）やそばの花（秋）が眺められます。

営業：土日限定11時より100食限定
蕎麦打ち体験可（要予約）